

キラキラ★たまみず

平成30年4月20日 発行 [玉水まちづくり協議会]
第54号

発行責任者：会長 小立記正
連絡先：☎・Fax (079) 506-3163

☆たまみずサロン

3月7日(水)於：篠山市民センター

玉水会館のエレベーターの設置工事のため、延び延びになっていた「☆たまみずサロン」が、篠山市民センターに場所を移して開催されました。



手作り楽器を使った演奏から始まりました。



「箇になっている物は、何でも楽器になるんですね。」と、ストローや竹のほうき、石油ポンプなどで作った楽器での身近な曲の演奏に、思わず引き込まれました。

また、鶏の鳴き声や赤ちゃんの泣き声を笛で再現したり、鼻で2本のリコーダーを吹いたりと、想像以上の楽しさに包まれました。

足立 晃一郎様（自称「マエストロ足立」様）による、手作り楽器を使った演奏で幕が開きました。ふだん目にしたことのないような楽器の数々にびっくりし、それらの楽器から出る音の美しさにまたまた驚かされました。

ホースや箇などを見たとき、これは楽器にできるかもなんて考える人がいるのかと、想像がふくらみました。



続いて、社会福祉協議会の岩木様による簡単なゲームを楽しみました。

「私に負けるようにジャンケンしましょう。」と、パー や チョキを出しました。負ける出し方はとても難しく、どうしても勝ってしまう方もおられて、笑いが起こっていました。



その後、昼食を食べながら、「お元気でしたか。」「また、お会いできてうれしいです。」「ほうきや石油ポンプが笛になるなんて、びっくりしたね。」などと、おしゃべりに花が咲いていました。



参加者の皆さんに、今日の感想をお聞きしました。「4回連続で参加しています。ふだん出会えない方に出会え、あの人も元気だとわかり安心しました。」「とても楽しいです。来ていたら、友達になれるのでうれしいです。」

孫のようなかるきさんの登場に、びっくり。落語が始まると、思わず引き込まれ、それこそ時を忘れて笑っている皆さんでした。



神戸大学落語研究部の、
かあいや
「可愛家 カルキさん」による落語「時うどん」を堪能しました。



最後は、丹波市にお住まいの北村 久美子様を講師に迎え、簡単な体操でリラックスしたひとときを過ごしました。

「みなさん、ステキな表
情をされていますね。」



「元気よく笑いましょう。
ワツ、ハツ、ハッハ。」
とのかけ声に、笑いで会場が一杯になりました。

チェーンソーの取り扱い講習会

11月26日(日)

しいたけ栽培のためのホダ木伐採に先駆けて、初心者向けのチェーンソー講習会を開催しました。



「きちんと手入れをしておかないと、事故につながる。」
と強調されました。

○野間に住まいの川崎 善文様を講師に迎え、
①山へ入るときは、必ずヘルメットを着ける。
②ふだんから、チェーンソーをきちんと手入れしておくことが事故防止につながる。
と、丁寧に教えていただきました。

やさしい話しぶりの中にも、服装や取り扱い方に対して妥協したくない、という強い思いを感じられました。

しいたけ栽培活動

[けがをしないように、慎重に作業が進められました。]

1 12月2日(土) ホダ木作り



[斜面での作業は、困難の連続でした。]

しいたけ菌を打ち込むためのコナラの木を切り倒し、1mぐらいの長さに輪切りしました。

まず、コナラの木を探し、

倒す方向や周囲の安全を確かめてから、チェーンソーを使って伐採しました。慣れない作業なので、チェーンソーの刃が木に食い込んだり、倒したい方向に倒れなかったりしてとても大変な作業でした。

それでも、100本近く切り出すことができました。



2 2月11日(日) しいたけ菌の植え付け

ました。
協力しながら作業を進め
る人と木を持つ人が、開けています。穴を開け
ドリルで、ホダ木に穴を



とても寒い日でしたが、小学生も参加して、しいたけ菌の植え付け作業を行いました。

ドリルで穴を開ける人と、しいたけ菌を打ち込む人に分かれて作業を進めました。寒さのため手がかじかみ大変でしたが、ほぼ100本近くのホダ木に、しいたけ菌を打ち込むことができました。



「2年先には、たくさんのしいたけが出てくるんやね。」「食べ切れないほど採れたら、どうしよう。」などと、2年後の収穫を楽しみにしながら、作業が進められました。

城北地区 人権・同和教育研究大会

3月24日(土)

於：篠山市民センター



「ごめんなさい」や「ありがとう」の心で生きると、すばらしい社会になると話されました。]

「誰もが安心して暮らせる地域づくり～高齢者」と題して、三木市より春川 政信様を講師に迎え、あいさつや他人に対する思いやりについてお話を聞きました。

不登校の児童が、実はとても優しい心を持っていること。お茶の会社の「伊藤園」では、みんなに喜んでもらうための会社にするため、社員全員で話し合っていることなどを、ユーモアを交えながらわかりやすく話される姿が印象的でした。

集落探訪ウォーキング

3月18日(日)

好天に恵まれ、約4Kmの道のりを歩きました。
午前9時に玉水会館を出発し、寺内、熊谷を通って、
藤岡奥をめざしました。

途中、熊谷地区にある「石くど古墳と阿弥陀堂」
を訪れました。石くど古墳では、道路から見えない
祠を前に、遠い古代に思いを寄せました。

「南東の方向に向けて出入りが造られているのは、意味があるのでしょうかね。」など、意味が聞かれました。



藤岡奥地区の東窟寺でトイレ休憩をして、帰途につきました。

万歩計を見てみると、14,000歩ほども歩いており、みんな驚いていました。



ウグイスの鳴き声を耳にしながら、藤岡奥をめざして歩きました。



[美しい佇まいの「東窟寺」]

お誘い

玉水まちづくり協議会活動に、 参加してみませんか？



左の写真は、平成28年7月に行われた「キラキラ城北納涼まつり」での一コマです。子どもたちだけでなく大人の方々も、時間のたつのも忘れて、一生懸命に竹を削る姿があちこちで見られました。

できあがったのは、竹の箸。自分で作った箸で食べたピザは、格別においしかったです。おうちに持て帰って、使った子どももいたそうです。



このような「感動を生み出す活動」を立案し、実現できるのが【玉水まちづくり協議会】です。この主旨に賛同いただける方なら、誰でも参加できます。

(ただし、城北地区にお住まいの方に限ります。)

○参加希望をお持ちの方は、玉水会館 ☎・Fax (079) 506-3163までご連絡下さい。(ただし、月～金の午後1～3時です。玉水会館のポストにお手紙を入れてください) ても結構です。)